

SCG087-P02

会場:コンベンションホール

時間: 5月26日17:15-18:45

## 反射法地震探査データとボーリングデータを用いた関東平野の三次元地下地質構造モデルの構築

### 3-D Geologic Modeling of Subsurface Structure in Kanto Plain using Seismic Profiling and Drilling Data

岡田 真介<sup>1\*</sup>, 木村 克己<sup>1</sup>

Shinsuke Okada<sup>1\*</sup>, Katsumi Kimura<sup>1</sup>

<sup>1</sup>産業技術総合研究所

<sup>1</sup>GSJ-AIST

関東平野は、東北日本弧の最南端に位置し、日本で最も大きな平野である。この関東平野は、中新世には日本海拡大に伴った伸張変形、また伊豆弧の衝突による影響、鮮新世以降は圧縮場に伴った変形と非常に複雑な変形を受けている。

このような複雑な構造発達史を解明するためには、地質構造を三次元で理解する必要がある。本発表では、各自治体・研究機関などが取得した反射法地震探査データと大深度のボーリングデータから得られる地層境界、さらには地表の地質データを用いて構築した関東平野の地下地質構造三次元モデルを示す。

キーワード:三次元地質構造モデル,地下構造,反射法地震探査,関東平野

Keywords: 3-D geologic modeling, subsurface structure, seismic profiling, Kanto plain